

# 陣ノ尾1号墳(太宰府市)

ここが陣ノ尾1号墳/墳丘は写真の右手半分で、右側は道路で大きく削られてしまっている



複式構造の横穴式石室が南側に開口する6世紀末頃築造の直径12m前後の円墳/石室が墳丘の中央なので、右手の墳丘の削られ状態がよく分かる



標柱が立っている



墳丘の左手を見たところ/大地の斜面見たいな所に造られているようだ





市指定史跡 陣ノ尾1号墳

大塚町市指定文化財 第1号  
指定日 昭和56(1981)年7月1日  
所在地 大塚町市園分二丁目100、1072-11

Jin-no-o Ancient tomb  
陣ノ尾古墳 石室古墳

陣ノ尾古墳群は、四王寺山から東西に延びる丘陵に築造された古墳群で、本墓並で不明な夾みも多いものの、円墳や方墳など4基が確認されています。  
この陣ノ尾1号墳は、昭和56(1981)年、園分小学校建設に伴って調査された直径12m前後の円墳で、右室は単列に開口する横室構造の横穴式石室です。石室は全長6.6m、奥室は長さ2.3m、幅2.0m、高さ約2.0mです。前室は長さ3.4m、幅1.5mです。扉室は漆黒などで覆われていて、実測はほとんど残っていませんでしたが、前室や奥室から瓦葺や鉄線などが出土しました。それらと一緒に出土した須恵器から、古墳は6世紀末頃(約1400年前)に築造されたと考えられます。この古墳は市内に残る数少ない古墳として重要です。



- 1 陣ノ尾1号墳
- 2 陣ノ尾2号墳
- 3 陣ノ尾3号墳
- 4 陣ノ尾4号墳
- 5 陣ノ尾5号墳
- 6 陣ノ尾6号墳
- 7 陣ノ尾7号墳
- 8 陣ノ尾8号墳
- 9 陣ノ尾9号墳
- 10 陣ノ尾10号墳



石室の開口部から奥室へと続く通路。奥室は石室の奥に位置しています。



石室の奥室の様子。奥室は石室の奥に位置しています。



石室の奥室の様子。奥室は石室の奥に位置しています。



石室の奥室の様子。奥室は石室の奥に位置しています。



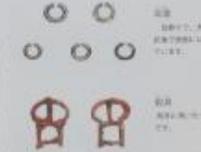
石室の奥室の様子。奥室は石室の奥に位置しています。



石室の奥室の様子。奥室は石室の奥に位置しています。

【出土品】

石室の奥室で須恵器が出土しています。須恵器は、須恵器で最も多く出土しました。  
須恵器中・・・須恵土、須恵土  
須恵器外・・・須恵土、須恵土  
須恵器内・・・須恵土、須恵土、須恵土、須恵土  
須恵器上・・・須恵土、須恵土、須恵土、須恵土  
須恵器下・・・須恵土、須恵土、須恵土、須恵土



平成24年2月 大塚町市



市指定史跡

# 陣ノ尾1号墳

太宰府市指定文化財 第1号

指定日 昭和58(1983)年7月1日

所在地 太宰府市国分二丁目100、1072-11

陣ノ尾古墳群は、四王寺山から南西に延びる丘陵に築造された古墳群で、未調査で不明な点も多いものの、円墳や方墳など4基が確認されています。

この陣ノ尾1号墳は、昭和56(1981)年、国分小学校建設に伴って調査された直径12m前後の円墳で、石室は南側に開口する複室構造の横穴式石室です。石室は全長6.6m、奥室は長さ2.3m、幅2.0m、高さ約2.0mです。前室は長さ1.4m、幅1.3mです。奥室は盗掘などで荒らされていて、副葬品はほとんど残っていませんでしたが、前室や羨道から耳環や鉄鏃などが出土しました。それらと一緒に出土した須恵器から、古墳は6世紀末頃(約1400年前)に築造されたと考えられます。この古墳は市内に残る数少ない古墳として貴重です。



## 周辺の文化財位置図

- ① 陣ノ尾 1号墳 (現在地)
- ② 筑前国分寺跡 (国指定史跡)
- ③ 若宮神社の杜 (市指定天然記念物)
- ④ 文化ふれあい館
- ⑤ 国分瓦窯跡 (国指定史跡)
- ⑥ 水城跡展望台
- ⑦ 筑前国分尼寺跡礎石
- ⑧ 水城東門跡・水城跡  
(国指定特別史跡)
- ⑨ 衣掛天神・姿見井



石室の中を覗いてみよう





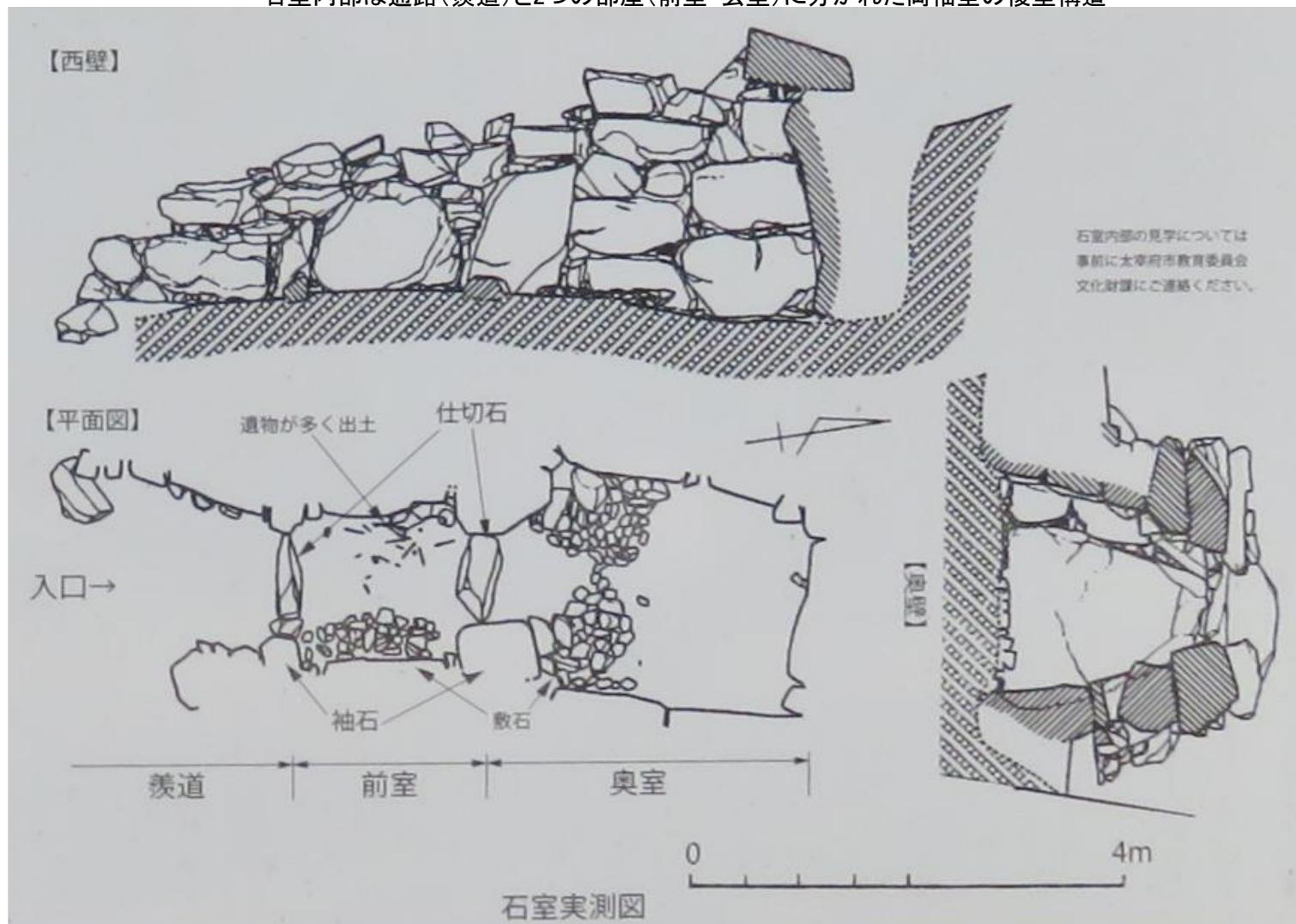




奥壁が見える



石室内部は通路(羨道)と2つの部屋(前室・玄室)に分かれた両袖型の複室構造





古墳は丘陵裾に築造されています。墳丘は土地の改変によって削られ、ほとんど残っていませんでした。



発掘直後の石室は、欠損が目立ち、天井石は奥室のみ残っていました。現在は一部復元して整備されています。



石室内は奥室・前室・羨道に分かれ、それぞれの境には袖石が張り出し、床面には仕切石が置かれています。



八字形に開いた羨道の入口には、30cm 前後の花崗岩レキを積み上げ塞がれていました（閉塞石）。



石室の床面には石が敷かれていました。また、石室内からは、9世紀の土器も出土しており、石室が平安時代に墓として再使用されたことが推定されます。



奥室正面には高さ 1.8m の大きな石が使用されています。

墳丘に登って南方向を見下ろしたところ



その右手を見たところ



参考ホームページ

<http://kofunmeguriwalking.web.fc2.com/jinnoo1gou.html>

[https://lovery-iruka.at.webry.info/201208/article\\_26.html](https://lovery-iruka.at.webry.info/201208/article_26.html)

<http://dazaifu-sanpomichi.com/%E9%99%A3%E3%83%8E%E5%B0%BE1%E5%8F%B7%E5%A2%B3/>

<http://kmrzigzag.blog.jp/archives/40375366.html>

